

【問題Ⅶ】 以下について該当する項目を選び、解答欄に番号を記載しなさい。[20]

A) 胎児は母体内で、出生後に行うさまざまな事の練習をしているといわれている。

次のうち、胎内で準備しないものはどれか。

1. 母乳を飲む 2. 排尿する 3. 泣く 4. 呼吸をする 5. 消化する

B) 父の血液型が AB, Rh+ で、母も AB, Rh+ の場合生まれる可能性のない血液型はどれか。

1. AB, Rh- 2. AB, Rh+ 3. A, Rh+ 4. B, Rh+ 5. O, Rh+

C) 新生児早期の黄疸の機序で最も関係のないものはどれか。

1. 肝細胞障害 2. グルクロニールトランスフェラーゼの低活性 3. シヤントビリルビン
4. 腸肝循環の亢進 5. 胎児赤血球の崩壊

D) 次のうち、胎児循環ではないものはどれでしょう。

1. アランチウス管 2. ボタロー管 3. 臍帯動静脈 4. モンロー孔 5. 卵円孔

E) シルバーマンのリトラクションスコアのうち、呼気時にみられるのはどれか。

1. 肋間窩陥没 2. 呻吟 3. シーソー呼吸 4. 下顎が下がる 5. 剣状突起下陥没

F) 以下の事例において、最も考えられる疾患はどれか。

22歳 OGOP の母から緊急帝王切開にて出生の在胎 26 週 0 日、出生体重 1016g の男児。
アプガースコアは 4 点 (1 分)、8 点 (5 分) で羊水混濁はなかった。自発呼吸が弱いため、娩出直後に気管内挿管を行い、100%酸素下、ジャクソンリース回路でバギングされながら NICU に入院となった。この間パルスオキシメータによる酸素飽和度は 90% であった。胸部レントゲンでは心肺境界不明瞭ですりガラス様、胃液のマイクロバブルテストは陰性であった。

1. 新生児一過性多呼吸 2. 呼吸窮迫症候群 3. 胎便吸引症候群
4. 気胸 5. チアノーゼ性先天性心疾患

G) 在胎 33 週、出生体重 980g の新生児で当てはまらないのはどれか。

1. 早産児 2. 未熟児 3. 超低出生体重児 4. 極低出生体重児 5. light for date baby